



CDL 領域	研修名	研修目的・内容	実際の様子
臨床看護 実践	医療安全	医療安全の概論的学習を踏まえ、配属前に危機管理のシミュレーションを行い、医療安全に対する理解と危機管理意識を高める。看護実践の中で医療安全に必要な対策を学ぶ。	患者の安全を守ることは医療者としての基本姿勢です。オリエンテーション期間中に危機管理のシミュレーションを行い、医療安全への意識を高めます。
臨床看護 実践	感染対策	感染対策の概論的学習を踏まえ、配属前に正しい手指衛生及び防護具着脱の方法を習得する。	1年間(計 11 回)を通して感染予防・対策についての基本的知識・技術を身につけていきます。 
臨床看護 実践	医療ガス 薬剤実習	入社時に最低限知っておくべき知識(医薬品の安全管理/医療ガスの 3 本柱/取り扱いにおける留意点等)を習得する。	酸素ガスボンベの交換方法など、部署に配属されるとすぐに使う技術について動画を見て取り扱いの実際について学んでいきます。
赤十字	災害関係	当院の役割を理解し、災害の基礎知識を取得する。	災害拠点病院である当院の使命から、災害にまつわる基礎知識を押さえます。
赤十字	支部研修 赤十字概論 I	赤十字が発祥するに至った社会的な背景や発展してきた歴史的経緯を踏まえて赤十字の活動について学ぶ。	少し病院を離れて、日本赤十字社愛知県支部(東区)に行って研修を受けます。赤十字の看護師であることを感じられる講義でした。
マネジ メント	看護部 オリエンション	看護部の概要を理解する。看護師としての身だしなみと心構えを知る。看護協会・同方会、(看護連盟)について学ぶ。看護部の継続教育システムを理解する。	魅力あふれる師長さんの自己紹介の後は、「師長さん当てクイズ」! 出会ったばかりの新しい仲間とチーム対抗戦で取り組みました わきあいあいと親睦を深めながら新たな仲間になる準備を整えていきます 
マネジ メント	目標管理 I-①	目標管理の概要を理解する。	部署ごとに 1 年後の自分たちをイメージしながら、目標を立てました。「元気 100 倍わ

<p>教育・研究</p>			<p>きあいあい」「いつでもスマイル」など、チームの特色豊かな目標を発表しました。</p>	
<p>臨床看護実践</p>	<p>高齢者の看護の基礎</p>	<p>高齢者の特徴を理解し、看護実践に役立てる。</p>	<p>学生の頃に学んだ老年期の看護と、実際の高齢患者を結びつけるため、認知症看護認定看護師からの講義を受けます。すぐにでも実践に活かせる内容にみんな集中して聞いていました。</p>	
<p>臨床看護実践</p>	<p>血糖管理</p>	<p>血糖管理中の基礎的知識と看護について学ぶ。</p>	<p>糖尿病看護認定看護師・日本糖尿病療養指導士から、血糖測定の実験・演習を行いました。血液がでてこなかったり、細い針なのに強い痛みを感じたり、1日に何度も血糖測定を行う患者さんの気持ちに寄り添って考えることができました。</p>	
<p>臨床看護実践</p>	<p>食事援助 口腔ケア</p>	<p>安全な食事介助・口腔ケアに必要な基礎知識、アセスメント、リスク管理の必要性を理解する。</p>	<p>摂食・嚥下障害看護認定看護師から生きていくために大切な「口から食べるということ」について学びました。食にまつわる安全について考える機会となりました。</p>	
<p>臨床看護実践</p>	<p>医療機器管理① 静脈注射技術研修 I-①</p>	<p>輸液ポンプの基本的な取り扱い方法を学ぶ。滴下合わせの方法を学ぶ。</p>	<p>シリンジポンプ、輸液ポンプ、低圧持続吸引器の3つについて取扱方法について臨床工学技士の講義と演習を受けました。実際に機器に触れての取扱いの実験にみんなドキドキ</p>	
<p>臨床看護実践</p>	<p>採血・静脈穿刺静脈注射技術研修 I-② 口腔・鼻腔内吸引</p>	<p>静脈血採血、口腔・鼻腔内吸引に必要な基本的知識を理解し、安全に正確な技術を習得するとともに、苦痛に対する配慮ができる。</p>	<p>シミュレーターを用いて、採血や吸引を練習しました。どろどろの模擬痰を吸引するには、喉のどのあたりまで、チューブを入れたらいいのか模型で確認しながら行いました。</p>	

臨床看護実践	電子カルテ操作練習	電子カルテの操作方法を理解する。	テスト患者を用いて、電子カルテの開き方から入力の仕事まで練習します。一人一台パソコンが準備されますが、いつもタブレットやスマートフォンを使い慣れている皆さんはスムーズに操作ができていました。
臨床看護実践	褥瘡予防①	褥瘡予防に必要な基礎知識・技術を習得し、褥瘡予防の早期発見のための観察点を理解できる。	皮膚・排泄ケア認定看護師から、体位のズレを体感しながら、ポジショニングや除圧・背抜きの方法を学びました。 
マネジメント	ストレスコーピング	仕事をするうえで、身体も心も自分でメンテナンスをしながら責任を果たす姿勢、「セルフケア」の必要性を学ぶ。	臨床心理士からストレスにどのように対処したらよいのか、講義を受けました。当院にある「こころの相談室」などのサポート体制も紹介します。
臨床看護実践	コミュニケーション	看護職に必要な対人力の必要性を理解し、コミュニケーションの考え方を学ぶ。	伝えたいことが相手に伝わったかどうかのゲームを行い、伝え手と受け手の体験をしました。対人基礎力を高めるためのコツを学びました。
臨床看護実践	フィジカルアセスメント I-①	フィジカルアセスメントの考え方の基本を理解しフィジカルイグザミネーションの基本技術を習得する。	第3次救急を担う当院ならではの緊急時対応に備えたフィジカルアセスメントの基礎を事例クイズなどで学びました。
臨床看護実践	NST (栄養サポートチーム)	栄養アセスメントの必要性を学び、個々の患者に相応しい栄養管理により、良い治療効果を得て早期退院・社会復帰の援助に繋がることを理解する。	摂食・嚥下障害看護認定看護師から「口」からだけではない様々な栄養の摂取方法について学びました。管理栄養士による講義では、多職種チームで患者さんの食を支えていることを実感することができました。
マネジメント	PNS(パートナーシップ・ナーシングシステム)	PNSについて学び、パートナーシップマインドの重要性を理解する。	当院で取り入れているパートナーシップ・ナーシング・システムについて、その実際を学びました。尊重・信頼・慮る、この3つを大切に一緒に働いていきます。
臨床看護実践	BLS・急変時の看護技術 I-①	一次救命処置を習得する。	BLSはシミュレーターを用いて、人工呼吸と胸骨圧迫を練習します。みんな息を切らしながら懸命に取り組んでいました。
臨床看護実践	医療機器管理② 静脈注射技術研修 I-③	安全な医療機器の使用方法和管理方法について理解する。	医療機器を管理している場所、貸し出しの方法、心電図モニターやフットポンプの取り扱いについて、臨床工学技士さんから学びました。 

臨床看護 実践	単位別研修① モニター心電図	モニター心電図の基礎を学ぶ。	各看護単位の実地指導者が講師となり、OJT で心電図モニター管理を学びます。先輩看護師が実践の場ですぐに活用できる知識・技術を実際のコツなども交えながら指導します
臨床看護 実践	薬剤・輸血管理静脈 注射技術研修 I-③	安全な薬剤および血液製剤の取り扱いと管理方法を理解する。	安全な取扱いについて、薬剤師の講義を受けます。また、各看護単位でも担当薬剤師が点滴や内服薬の取扱いについて、各単位での特徴を踏まえた講義・演習がおこなわれます。 
マネジ メント	重症度、医療・看護 必要度	重症度、医療・看護必要度の意義・目的・必要性を学び、評価および入力方法について理解する。	重症度、医療・看護必要度の評価方法や入力方法を学びます。動画教材を利用して実際に評価することで、具体的にどうやって評価すれば良いのか習得します。
臨床看護 実践	看護記録(看護過程・ 看護診断)	看護診断に至るプロセスを学ぶとともに、看護記録の必要性を理解し、行った看護実践の記録方法を習得する。	記録の基礎的な知識や看護診断について学びます。模擬事例を用いて、実際にデータベースを記載して看護問題を考えます・
教育・研 究	新人フォローアップ研修	リアリティーショックを緩和し、次に向かうための気持ちの整理をする。	すべての職種の新入職員が再び集合し、お互いの悩みを語り合い、励まし合います。初めての一人暮らしや新社会人としても新しい環境の中での生活に少し疲れている気持ちを分かち合って、また頑張ろう！という思いになるようです。
臨床看護 実践	褥瘡予防②	褥瘡発生のメカニズムが理解でき、褥瘡予防に必要な基礎知識・技術を習得し、褥瘡の早期発見のための観察ができる。	皮膚排泄ケア認定看護師や褥瘡予防対策チームの看護師が講師となって、褥瘡予防に必要な体位管理や移乗方法について演習します。体圧測定できる機械を用いて、実際に身体のだの部分に圧がかかっているのか見ながら学びます。 
臨床看護 実践	フィジカルアセスメント I-②	日常のケアに必要な基本的知識を活用し、異常の早期発見と初期対応について学ぶ。	紙上患者を用いたフィジカルアセスメントの演習です。グループワークで意見交換しながら、緊急度や重症度について考え、実際に同じような状況に遭遇したらどんな行動を選択するかを検討しました。

臨床看護 実践	ほっとする時間	現場での困りごとや、今の自分の気持ちを吐露する機会を設け、ストレスコーピングの一助とする。	入職後半年になる 10 月、新人看護師さん全員が同じ場所に集い、情報の共有を行って今の自分の立ち位置を確認したり、リフレクションする時間を持ちます。	
臨床看護 実践	単位別研修② 急変時の看護技術 I-②	急変させない看護に必要な観察技術を学ぶ。	各看護単位の実地指導者が講師となりました。急変の徴候に気付くための観察ができるよう、各単位の特徴を踏まえて、実際の看護場面を想定しながら展開していききました。	
臨床看護 実践	総合研修 《I can》	日々のよくある看護場面(多重課題)を通して、自らの思考過程・判断・行為の傾向を振り返り自己洞察の機会とする。思考能力を高め、優先順位を判断するためのプロセスを知る。安全・安楽に配慮した看護ケアを提供するための課題を明確にする。	紙上患者を用いて、多重課題に挑みます。部署グループの力を結集して、ありがちな場面での、安全・安楽に配慮した看護技術や判断とは？を学びました。	
臨床看護 実践	看護倫理 I	日々の看護で直面するジレンマに気づき、周囲にジレンマをつたえることの大切さを理解する。	日頃もやっとしている事例をグループワークによって考えました 日々の看護で直面する倫理的ジレンマに気づき、周囲にジレンマを伝えることの大切さを共有しました	
マネジメ ント 教育研究	目標管理 I-②	今の自分と向き合い1年間の成長を承認する。CLD レベル I 取得に向けた自己目標を立て、キャリアアップすることの大切さを理解する。	いよいよ、あと1ヶ月ほどで新人看護職員も卒業です。入職時からの役約1年間で振り返り、お互いに成長を噛みしめます。キャリアアップについて考え、半年後には実践者ラダー I の取得を目指します。	